帝都日日新聞

日本一大衆的日刊新聞　定價一月二十五錢・送料一錢

七月上旬の外交時報

英國の對日國策を問ふ……中澤玉城
アメリカの中立法案……横田喜三郎
米國ラテンアメリカ政策……堀眞琴
菲日總民法第十三周年……大山卯次郎
日支關係と對日是正の急務……小室誠
米支通貨協定……井村薫雄
以東問題と對介石……吉岡文六
列國財政難の深化……鈴木憲久
日波通商航海條約の設動……平野常治
北洋漁業權の本質……西塔義平
世界の石油政策……小室恒夫
日支國交調整と内閣……美濃部亮吉
幻の行政説再燃に際して……米田實
滿洲國と國境北支那の懸案問題……中保與作
所謂北支那の懸案問題……吉田虎雄

食中毒

ニダイモール常備必携

（日曜百科連載）

酵母菓子 コスピ

トロット溶けて
身體を創る
輝くオヤツ

最大能率中村野球工場製

コスピ

（販賣元株式會社コリク（阪大・京商）

カモス齒磨

のみのコバタ

東方日出づる所スモモあり
桃ひも桃つた足なみ齒なみ

錢五十錢定りあに店賣品鮭化草煙　808

國民精神新論

文學士 井上哲次郎 著

菊判三〇〇頁 定價金二十錢 送料十八錢

日彩の心理

文學士 井上哲次郎 著

菊判三〇〇頁 定價金二十錢 送料十八錢

結婚準備と結婚の知識

文學士 井上哲次郎 著

菊判三〇〇頁 定價金二十錢 送料十八錢

新兒童文學論

樋本楠郎 著

四六判二〇〇頁 定價金二十錢 送料十八錢

隨筆 世間への觸角

巨島省吾 著

菊判二〇〇頁 定價金二十錢 送料十八錢

國語常識寶典

國語學會編

菊判三〇〇頁 定價金二十錢 送料十八錢

日本兒童文學全集

全十二卷

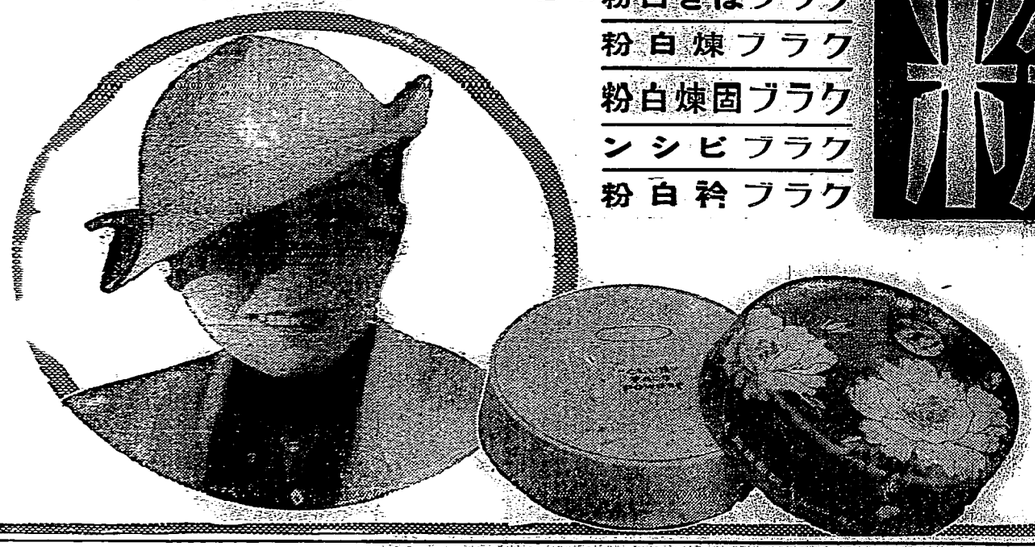
日本兒童詩集

日本兒童文集

東宛書房

粉白ブラク

（色二十）粉白きはブラク
粉白煉ブラク
粉白煉固ブラク
ンシビブラク
粉白衿ブラク



夏負けのする今！ホルモン配合の新白粉がぜひ必要！

★肌の健康を助長する
クラフ白粉は肌の健康の爲に有効な特殊な色素を用ひてゐますが更に苦心研究の結果肌から吸收される美容界絶讃のクラフ綜合ホルモンの配合に成功致しましたクラフ白粉をお使ひになりますと綜合ホルモンが内服以上の効果で肌から吸收され艶、艶みを防ぎ、肌の夏負けのし易い今！發溂とした健康美に輝くお化粧が出來ます

★化粧クヅレがしない
尚その上クラフ白粉は粒子が極めて精微でありますからお顔のどんなつきにくい所でも不思議な程ムラなくつき汗や脂にも崩れぬ活々とした涼しい夏化粧が直に出來ます

赤十字葡萄酒

健康三杯！

朝の一杯は活動の源泉
晝の一杯はエネルギーの集注
晩の一杯は疲勞の恢復

增血補腎純粹藥用葡萄酒
飲用赤十字之作用因本藥絕大衆養素能增胃液完全推行消化力增血補腎更治
弱氣血衰、精神恍惚、身體疲勞、四肢無力、胸隔痞塞、飲食不進、頭目昏眩、面唇黃瘦、咳嗽生痰、唇焦口燥、盜精盜汗、經水不調
特爲產前產後婦女飲用補血滋强治去惡阻婦健兒强之大靈藥也
▽代售 全島到處各藥房各洋酒舖

酌め！赤十字の盃！

既に定評ある赤十字は我國唯一の純粹藥用葡萄酒であります。虚弱者は勿論健康者も常用すれば著しく食慾を進め血を增し肉を肥して溌剌たる健康を保持することが出來ます。特に產前產後の婦人に無二の補血滋强品であります。

進物御贈答用に極めて體裁よく、便利重寶であります。

全島の藥店、洋酒店、雜貨店で販賣す

國策決定の重要閣議
愈よけふ開かる
首相、審議方針を明示

【東京二日發】廣田内閣組閣の後に於ける新國策決定の爲の重要閣議は愈々三日午前十時から首相官邸に於いて開かれる事となつた、當日は先づ廣田首相から

現内閣は組閣當初に現下内外の諸情勢に鑑み擧國一致の政策を確立し、これが具體化を計らねばならぬとなつた、ついては此の際各閣僚から國務大臣として國家百年の大計を確立する爲め自由に意見を吐露し新政策の決定に協力されたい、尚行政機構の改革は先づ實行すべき新政策を決定した上其の必要があれば既存する事としたい

と述べ、國策審議の根本方針を明示し、其の上で各省から提出される新政策について審議する段取である、而して各省から提出される重要國策は

一、陸、海兩省よりの全面的國防計畫案
一、大藏省の增稅案並に稅制整理の問題
一、外務省の自主機構外交の確立と外交陣の强化
一、交部省の義務教育制度の改革
一、内務省の國民健康生活國營と土木治水國營
一、農林省の農村救濟國營と農村國營
一、商工省の鑛業政策の確立と燃料、原料國營
一、農林省の農村土地制度の改革と農業保險案及羊毛國營
一、拓務省の滿洲移民國營

等が豫想されてゐるが、本閣議に於ては各省から提出された重要國策を決定するに止まり、具體的な實施案については各省に於て研究の上、次回の閣議に於て決定する事となり、國策實施の順序については各省から提出された重要國策を一應檢討の上、其の緩急を定めて閣議に諮る事となつてゐる

尚本閣議に於ては國策決定と共に、廣田内閣の政綱ともなるので、其の國策が重點的であるか否かを檢討し、又各省間の權限に關する問題等も出來るだけ之を調整して置く事となつてゐるが、本閣議は單に國策決定の第一回閣議であるから、各省間の權限に關する問題等は次回以後の閣議に於て調整する事となつてゐる

尚廣田首相は三日午後六時二十分親任式を擧げた後、直ちに參内、午後七時三十分宮中に於ける内閣更迭の御禮言上を了へ、午後八時頃官邸に歸邸する豫定である

國民輿論を聽視の民國

擧國待望の改革案
嚴秘の封切り役は藏相

【東京二日發】國策決定の重大閣議は愈々三日から開かれるので内閣調査局では二日午前十時から午後一時に亘り局内に調査委員會議を開催、增稅問題並に中央、地方を通ずる稅制の根本改革に關して最後の纒め調査局としての意見、案を決定、其内容は未だ極秘に附されてゐるが調査局としては飽く迄目前の糊塗的態度を避け中央、地方を通じて相當突込んだ改革案を持つてゐるものの如く一方大藏省でも同樣目下の處は出來てゐるので今後は更に右調査局の意見と大藏當局との意見とを行ひ愈々最後案を完成して馬場藏相より之を閣議に諮る段取りてある

國際空路の開拓と
航空工業の助成統制
航空國策の最後案決定

【東京二日發】逓信省では三日國策樹立に提出すべき逓信國策に就き二日午前八時から省議に於き最後的協議を加へた結果、逓信國策の樹立に關する航空國策の確立と航空工業の助長助成に關する國策を置き之に關する航空國策の確立と航空工業の助長助成に關する國策を置き之に關する航空國策の確立と航空工業の助長助成に關する國策を置き之

アルコールの毒（一）

中央研究所員 醫工學博士 加福均三（譯述）

酒に關係を中心としてアルコールの問題が大分やかましくなつて來た。然るに一般大衆はアルコールなる物質に就て如何る危險をもつ有樣で居ては國民全體に大關係の問題であるに未だに之に關する智識の缺乏を感じないのは大變おかしい。それで何とかして之にも關係の深い醫學者達が一般國民を啓蒙する講演にアルコール・スルホン・エーテルと云ふ題目で飲んだ時の作用とか、その種類と製造法とか、又大衆にアルコールの害毒を納得の行く樣に云ふことに決めて之を引受けたのである。

（一）

一體人は現代に生活に慣れて來ると、なるべく手數のかゝらぬことを望むことゝ云ふことは之へ古を偲ぶことも無く大に喜ぶことゝなければならぬ。今此の樣な傾向で大體から判断して酒に關係のある事柄に就ても、それの利用に對する關係から色々な時代に於ける社會的狀態と個人との關係に於ける物質に關する智識の缺乏と云ふ二つの事柄を一つの問題として取扱ふことが出來ると思ふ。

◇知識の缺乏　酒の害毒を一つ

◇兎も角にも　アルコールなる物質は非常に廣範圍の用途を有するものであるが、

◇酒以外にも　勿論酒類の製造に使用されるものであるが、

◇アルコール　なる言葉も其例にもれず一言はじめはアラビア語のアルコールから來たものだと云はれる。それはアラビヤで女の人が眉毛を染める爲に使つた細かい粉末の名であつたのだ。此言葉が英語に移されたのは第十六世紀である。「ベーコンの著書に次の一節がある。"the Turks have a black powder made of mineral called alcohol, with which they lay under their eyelids." 昔の化學に於てアルコールなる言葉は蒸溜するに大變に細かくて揃つた粉末なんでも

◇一粒の感じの　出た說なる細かさのあらゆる粉をさしたものらしい。パラケルスー

◇昔の化學書　を見ると水分の蒸發で有名なパラケルサスやリバヴィアス第十二共に醫藥用にして「アルコールと云ふ名を用ひて居るがパラケルサスは其他に種類の物質のことをもアルコールなる名であらはして居る。一七〇二年にフイリップスはアルコールに相當なる物質から分離した純粹なる物質を意味すると云つて居るし又一七三三年にボーメ（比重の測定で有名な人）はアルコールの名稱に定義をドして第一には最細細な粉末狀に微粉されたる物質をもつと云ふ二つの事柄をもつて其名稱のせて居る。

◇凡ての飲料　を指す樣になつたなら此の廣い意味をもつたアルコールと云ふ言葉も現代に於ては次の三つの性質で說明することが出來ればアルコールと云ふ言葉を聞いて大體の見當がつくやうになつたと云ふことになる。

一、揮發性　二、可燃性　三、親水性

此意味に於ては純粹のアルコールは無色透明の液體で、特有の香氣と燒けるやうな味とを有し、揮發性に富み、空氣中に放置すれば容易に蒸發し、又火を近づければ容易に燃えて靑い炎を出して燃える。又水と何れの割合にも混和して次の如く變化を與へる。

（一）水と混和すれば其容積を減ずる。

（二）水と混和すれば其發熱する。

（三）水と混和すれば其沸點を變ずる。

（四）水と混和すれば其凝固點を變ずる。

（五）水と混和すれば其比重を變ずる。

（六）水と混和すれば其粘度を變ずる。

（七）水と混和すれば其表面張力を變ずる。

（八）水と混和すれば其光の屈折率を變ずる。

（九）水と混和すれば其光の吸收率を變ずる。

（十）水と混和すれば其電氣傳導率を變ずる。

（十一）水と混和すれば其誘電率を變ずる。

（十二）水と混和すれば其磁氣感受率を變ずる。

（十三）水と混和すれば其電氣化學的性質を變ずる。

（十四）水と混和すれば其電氣分解性を變ずる。

（十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電壓を變ずる。

（十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電流を變ずる。

（十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（五十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（六十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（七十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（八十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（九十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百二十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百三十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百四十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百五十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百六十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百七十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百八十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（百九十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百二十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百三十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百四十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百五十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百六十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百七十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百八十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（二百九十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百二十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百三十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百四十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百五十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百六十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百七十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百八十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（三百九十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百二十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百三十九）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十一）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十二）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十三）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十四）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十五）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十六）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十七）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十八）水と混和すれば其電氣分解に要する電氣量を變ずる。

（四百四十九）水と

南海の虹

(41)

上映
東上演

北村小松作
小林秀恒畫

誰が網を切つた？(四)

「真黒してるわ、お父さんたらきつとマラヘ行つたにちがひない！」

男子は朝つぱらから不機嫌になつてしまつて、家鄕の酒を初め小間使達までにもはれものにでもさはる樣に男子の機ひに手を燒いてゐた。

——今度船の旅行をする時はきつと一緒に連れて行つてやるいつもの子が外國の話や、映畫の話をして呉れるのに、どうしたらう、今日は一言も口をきかないのだ。

くてたまらないのだが、その中にもうよりは映畫でも見たら、自分の不滿も少しはけなげられるかも知れないと思つて男子は一人で映畫へはいつた。だが、下駄やつてゐた映畫は間なく女たちに對する眞劍をそゝる様な情慾的な物語りだつたので、男子は更に憂鬱になつてしまひ、殘つてゐるたゞ一箇の小遣から受けた銅の中から更に何んとなく自分一人切りの感から取りのこされてしまつた樣なやるせなさに驚つてしまつた。

に呼びされて不意にもの思ひの多い昔の西家に接助を求められた愉快な記憶から少しでも救はれたら。

——さう思ふと、自分がだまし打ちみたいに置き去りにして行つた父のしうちに一人で腹だてゝしまつたのだつた。

客船は數々な險阻になつて來るのだが、輕い食事をすまして一寸の間ピアノを彈いてゐた男子は思ひ出した樣に外出着に着かへるとノイと家をとび出してしまつた。かうなると、何もかもつまらなくなつてしまつた。

「つまんない……」

我慢して映畫を見てから帝劇を出ると、外はもう濕つぽい雨が降り出してゐた。それを機さに風がたたきつけ街路樹が騒めき合つてゐるのだ。

もうこのお天氣ぢや遊び所もなさゝうだ。——お友達を訪ねて行つたつてつまらない。ざうざうしくめて男子は眼へ歸つて來た。家では晩餐で西家が早めな夕食をとつてゐる所だつた。

「西家さん、パパはどこへ行つたの？」

「さつき呼べて頂戴！」

レインコートを取り出してつゞいて西家の後に行くと男子はニコリともしずにたつてゐた。

「あゝ、お嬢さんなさい」

「あゝ、お嬢さんなさい」

眼い樣に目を上げた西家は立ちあつて食堂をするとう、すぐ帝劇な調子にかへつて言つた。

「帝劇へいらつしやつた樣です！」

「さうだと思つた、パパの意地惡ッ！」

放り出す樣に云つた男子は西家とはなれた椅子に腰を下ろした。

「男子さんたらに熱いコーヒーを入れて」

「かしこまりました」

夕食をするかどうか伺はうと、慇懃してゐたお加減の男子が急き足に厨房の方へ下つた。

「帝劇だけの？　マラへはいらつしやらないの？」

男子が又西家に云つた。

「さア君は、何つて　をりませんか！」

「秘密のあなたが知らないの？」

男子は更に嬉嬉に腰をひめだ。

ラヂオ

午前の部

【六・〇〇】朝の擧操（ラヂオ體操）

午後の部

【一二・五九】正午の時報（東京）

【一二・〇〇】放送局編輯ニュース（東京）

【一二・〇一】農業相場（東京）

【一二・一〇】株式相場（東京）

【一二・二〇】天氣豫報（東京）

【一二・二五】經濟市況（東京）

【一二・三〇】實演（東京）

【一二・四〇】子供の時間（東京）お話、魚釣の卷（子供のテキスト第四十三頁）（東京）

【一二・五〇】コドモの新聞（東京）

【一・〇〇】子供の時間（東京）お話、魚釣の卷（子供のテキスト第四十三頁）（東京）

【一・二五】經濟市況（東京）

【一・三〇】放送局編輯ニュース（東京）

【一・四〇】實演（東京）

【一・五〇】子供の時間（東京）お話、魚釣の卷（子供のテキスト第四十三頁）（東京）

【二・〇〇】子供の時間（東京）お話、魚釣の卷（子供のテキスト第四十三頁）（東京）

【二・四〇】實演（東京）

【二・五〇】放送局編輯ニュース（東京）

【三・〇〇】實演（東京）

【三・四〇】實演（東京）

【四・〇〇】實演（東京）

【四・四〇】實演（東京）

【五・〇〇】子供の時間（東京）お話、魚釣の卷（子供のテキスト第四十三頁）（東京）

【五・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【五・三〇】實演（東京）

【五・四〇】實演（東京）

【六・〇〇】子供の時間（東京）お話、魚釣の卷（子供のテキスト第四十三頁）（東京）

【六・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【六・三〇】實演（東京）

【六・四〇】實演（東京）

【七・〇〇】實演（東京）

【七・二〇】實演（東京）

【七・四〇】實演（東京）

【八・〇〇】子供の時間（東京）お話、魚釣の卷（子供のテキスト第四十三頁）（東京）

【八・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【八・三〇】實演（東京）

【八・四〇】實演（東京）

【九・〇〇】實演（東京）

【九・四〇】實演（東京）

【一〇・〇〇】實演（東京）

【一〇・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【一〇・三〇】實演（東京）

【一〇・四〇】實演（東京）

【一一・〇〇】實演（東京）

【一一・四〇】實演（東京）

【一二・〇〇】實演（東京）

【一二・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【一二・三〇】實演（東京）

【一二・四〇】實演（東京）

【一・〇〇】實演（東京）

【一・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【一・三〇】實演（東京）

【一・四〇】實演（東京）

【二・〇〇】實演（東京）

【二・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【二・三〇】實演（東京）

【二・四〇】實演（東京）

【三・〇〇】實演（東京）

【三・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【三・三〇】實演（東京）

【三・四〇】實演（東京）

【四・〇〇】實演（東京）

【四・二〇】放送局編輯ニュース（東京）

【四・三〇】實演（東京）

【四・四〇】實演（東京）

【五・〇〇】實演

現在の四支廳を廢し 廳の下に二三郡を設置

街の區域を擴大し市制に備ふ

東部地方制度改正に對する 花蓮港廳の腹案

【花蓮港電話】警務當局では明十二年度に於て臺東地方に地方自治制度を實施する事が決定的となつたが關係當局では既に昨年度に於て實施當時に對し部廳舍に關する具體案を提出して

[illegible]するものの[illegible]現在の一街一庄を一街八庄に改めるとも花蓮港の區域を擴大し廳舍部落の編入を行ひ街廳への第一步を踏み出さんとする計畫である

以下の記事に關連せられる事

臺陽鑛業から 硫化鑛を盜む

大倉組の鑛業權侵害

【基隆電話】基隆警察署では去る六月中旬頃より管内各鑛山に於て硫化鑛の盜掘頻々たるを發見し嚴重取調べの結果去る廿九日基隆市仁愛町一丁目大倉組の鑛業權を侵害し硫化鑛を盜掘したる事實を發見し同日午後一時頃同署より警部補外數名出張し同社の倉庫を捜索し盜掘したる硫化鑛を押收すると共に關係者數名を取調べたるが其の内容は左の如し

【基隆電話】基隆警察署では去る廿九日午後一時頃より同署に於て署長以下各係主任を招集し管内各鑛山に於ける鑛業權侵害者の檢擧方に關し協議を遂げたるが其の内容は左の如し

一、檢擧の方法は各鑛山に於ける鑛業權侵害者の檢擧は各鑛山の所在地を管轄する警察官吏に於て檢擧すること

二、檢擧の時期は各鑛山に於ける鑛業權侵害者の檢擧は各鑛山に於ける鑛業權侵害者の檢擧は各鑛山に於ける鑛業權侵害者の檢擧

御中元

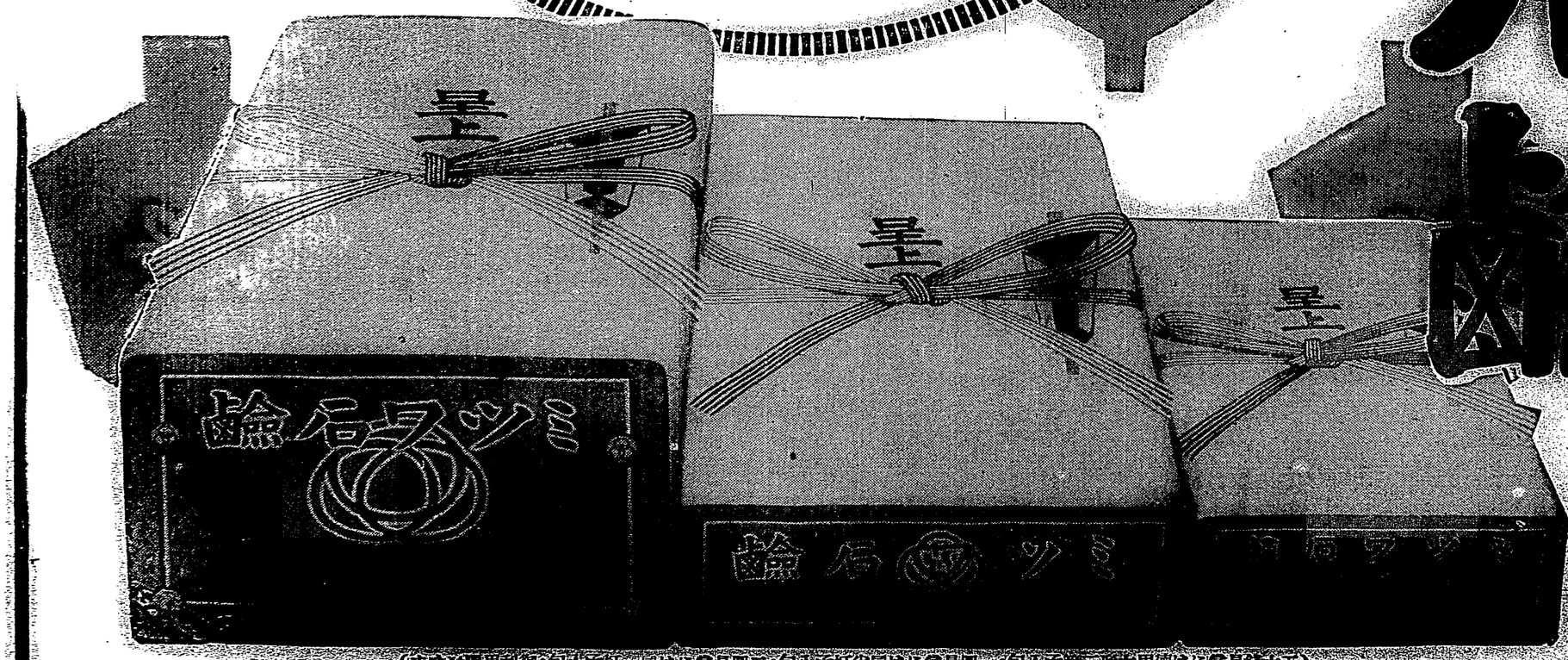
御贈答には

時代の意を拘んで
虚禮を捨てませう

實生活の必需品で
保存の利く物を！

ミソカ石鹸は何度も新しく
でも特別割安のお値段で販
賣して居りますが、萬一御
注所で買切れの節は何卒本
舗へ直接御一報願上ます。

石鹸箱形大包は、三個入、
一打廿人の三種から、ご、ます、
笹用としては、三個入包、一打
一箱、箱の名產品あります。



粉白ワーサ　鹸石ワツミ
店商屋見丸◎
大阪・京都
七二一一——二一一一花満茶電
ヤミ〇鹸電〇一七京東替振

（すゝび國用利御・包入函打一同は二賣見圓二・包入函打半同は一賣見圓一・包入函箱二形大用徳は二賣見錢十五）

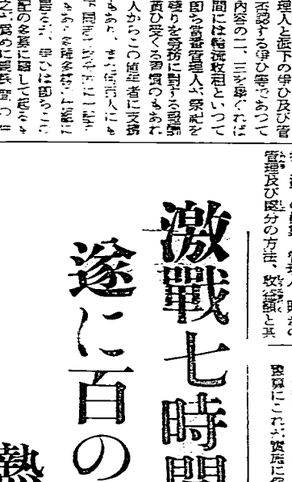
教會この分離を
飽くまで希望！
淡中及び女學院改革問題に
今川知事から回答

一學期に入れば
應急處置をとり度い
今川知事語る

醫大の宮原博士
近く退官して離臺
蕃人通で臺灣に於ける癩の權威

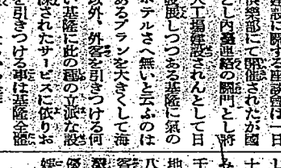
南方の經濟調査に
北山助教授（臺大）南洋へ
三ケ月の豫定で視察

祭祀公業の調査
本格的に開始
近く法令取調委員會を召集し
根本方針を協議



激戰七時間に亙り
遂に百の匪賊を倒す
熱河森澤部隊の
本部隊歩兵第二聯隊の森澤部隊は熱河殘存の最大の匪賊一百を

吉野丸基隆入港
齊藤高等法院長歸臺



京町會の假裝行列
京町通のネオン完成記念

鹽の値下げ
愈よ近く斷行か
見舞金も決定
準備漸く進捗
開業は九月一日

幼兒の奇禍
粗小屋で燒死

二氏に褒狀を
下賜

局バス南部線

社醫招聘
日本生命臺北支店

壯麗／人佳が描く躍跳の詩踊舞
今夕七時より於大世界館
崔承喜新作舞踊發表會

歌ふ彌次喜多
新世界館

山靈西へテイく
大二浪潮に捨てる青春
曲作樂第二回映最の畫篇高
浪曲動王小松嵐り世
トーキー美談水の江滝子助演
トーキー深川情話
日二第
日二第
館界世

空前の大浪曲愈本三日ヨリ五日間限
コロムビヤレコードの寵兒
浪界の新人
東家三樂榮
浪界の巨頭
東家樂燕（座）
出演者多數ニ付午后五時開演